

2020

持続可能な観光を担う

リーダーズミーティング in 熊本

主催 一般社団法人 JARTA 共催 一般社団法人 地域観光研究所



世界規模でSDGs（持続可能な開発）が叫ばれ、そのなかでもGSTC（世界持続可能な観光推進協議会）による世界基準の策定は、近年における日本の観光分野の主要なテーマとして、位置付けられるようになってきました。

しかし、持続可能な観光が着地点にあるのではなく、各地の地域づくりそのものが大切な要素です。温泉地や観光ポイントなどの観光地域に限らず、商店街、農村・漁村、そして環境や景観、伝統建築物などの幅広い分野や人の暮らしが連携しあって、地域に特徴的な観光素材を見出し、地域に訪れる人びとの行動案内、体験等の受け入れ先、宿泊施設等が一体的なシステム（仕組み）となって、地域に受け入れられることが理想とさ

れつつあります。そこに持続的な観光に対する取り組みがプラスされて持続的な観光が作られていくのです。

日本が観光先進国として、持続可能な観光に取り組む際に、日本各地におけるリーダーの存在が起爆剤として非常に重要になってきました。従って、これまで地域の活動の多くを担ってきたキーパーソンの方々が、今後は持続可能な観光をキーワードに活動に取り入れ、実施されるという状況を考えて、このミーティングを開催する運びになりました。

意欲ある次世代の持続可能な観光のリーダーになりましょう！

一般社団法人JARTA 代表理事 高山 傑
一般社団法人地域観光研究所 代表理事 坂元 英俊

| 日時 | 2020年2月11日(祝・火)

13:30から16:30

| 会場 | 熊本城ホール 会議室E



熊本城ホール
KUMAMOTO-JO HALL
<https://www.kumamoto-jo-hall.jp/access/>

| 入場 | 無料

| 定員 | 36名

お問合せ・申込み 地域観光研究所(担当:岩見)

iwami@chiikikanko.jp

Tel. 090-1087-9763

メールにて、参加者のお名前と連絡先をお知らせください。

主催



共催



一般社団法人
地域観光研究所

| スケジュール |

13:00 開場 受付開始

13:30 開会

来賓あいさつ

堀 信太郎 九州運輸局観光部 部長

1. 基調講演(40分)

世界における持続可能な観光の傾向と日本
高山 傑 (一社)JARTA 代表理事

2. 地域からの報告(75分)

- i 熊本の今とこれから
坂元 英俊 (一社)地域観光研究所 代表理事
- ii 菊池川流域の観光動向
吉川 哲也 平山温泉観光協会 副会長
- iii 阿蘇地域の観光動向
石松 昭信 阿蘇市経済部観光課 課長補佐
久保 堯之 みなみあそ観光局 マネージャー
- iv 人吉・球磨地方の観光動向
堀尾 里美 隠れ里ひとくまツアーリズム 理事

(休憩5分)

3. ワークショップ(55分)

地域別の持続可能な観光を組み立てる
【アドバイザー】山口 久臣 (一社)アイ・オー・イー 代表理事

4. 講評(5分)

高山 傑 (一社)JARTA 代表理事

16:30 閉会

2020 持続可能な観光を担う リーダーズミーティング in 熊本

| 日時 | 2020年2月11日(祝・火)
13:30から16:30
| 会場 | 熊本城ホール 会議室E

講演者・アドバイザー・発表者プロフィール



JARTA

高山 傑

アジアツーリズムネットワーク 会長
一般社団法人 JARTA 代表理事 他

世界700都市に滞在・訪問し、その間に構築した国際ネットワークとエコツーリズムなど、地域住民の生活向上と環境保全を両立させるための持続可能な観光を学び実践する。観光庁の持続可能な観光指標に関する検討会委員等を歴任。

一般社団法人 JARTA (ジャルタ)

持続可能な観光を実践する
「責任ある旅行会社アライアンス」

2018年5月設立。
旅行会社として課題を共有し、連携することで地域観光を後方支援し、意識の高い欧米諸国、オーストラリア、ニュージーランドなどを中心とした長期滞在と地方都市への関心が高い訪日観光者へのブランディング、集客、観光地・サプライヤー・地域住民・自治体・DMO等の観光協会との対話を通じた持続可能性の強化などを目的としたアライアンス。



坂元 英俊

一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
NPO法人日本エコツーリズム協会およびセンター 理事
公益財団法人 阿蘇火山博物館 評議員 他

地域づくり、観光、公共交通を統合化した滞在交流型の観光の実践と九州の観光振興に寄与した功績で、2011年に観光庁長官表彰を受賞している。2015年から2019年はサステナブルツーリズム国際認証フォーラムに高山氏と参画、観光とツーリズムの融合を図る観光地域づくりや持続可能な観光を行っている。



山口 久臣

一般社団法人 アイ・オー・イー 代表理事
一般財団法人 くまもとSDGs推進財団 評議員 他

自然学校のプロデューサーやツーリズムのプロデューサーで、九州の自然学校や阿蘇エコツーリズム等ガイド育成などの取り組みを行ってきた。自然体験型環境教育、自然体験活動、子どもの長期キャンプに関する野外教育論及び野外キャンプ全般に精通し、特に環境地域づくり(専門:自然学校、ツーリズム)を進める中で、持続可能な観光の大切さを認識し、活動している。



堀尾 里美

隠れ里ひとくまツーリズム 理事
人吉旅館 女将

韓国の南海(ナメ)郡で開かれた2012年第1回アジア持続可能な観光国際大会に参加し、漁村での魚手づかみ体験と民泊を経験し、日本遺産にも選ばれた人吉市と球磨地方が持っている観光とグリーンツーリズムの連携の必要性を認識した。今後は、人吉球磨の持続可能な観光の推進役として活動している。



石松 昭信

阿蘇市経済部観光課 課長補佐
阿蘇ユネスコ世界ジオパーク 事務局員

阿蘇市から、阿蘇地域振興デザインセンターに転出し、坂元氏と共に滞在交流型観光を実践してきた。現在は、阿蘇ジオパークを活かしたツーリズムの推進やJR九州との連携協定による観光振興、阿蘇山上のSDGs化など、持続可能な観光にも挑戦し続けており、今後の活躍が期待される。



吉川 哲也

平山温泉観光協会 副会長
山鹿温泉観光協会 理事、旅館一木一草 副社長

会計事務所、web開発、ITコーディネーター業務を経てベンチャー企業2社の上場、放送局の新規事業立ち上げや福岡エリアの商業活性化事業を推進し、山鹿温泉や平山温泉の宿泊施設や地域開発にも従事してきた。そのなかで、持続可能な観光の大切さを認識し、2019年熊本県北サステナブル研究会を設立し、活動している。



久保 堯之

みなみあそ観光局 マネージャー

熊本地震の時、南阿蘇の災害活動に救援者として従事。その後、南阿蘇村の観光協会を解散し、観光だけではなく地域ツーリズムの取り組みも一体化した活動拠点となるみなみあそ観光局を設立。マネージャーに就任している。阿蘇地域7市町村で構成する阿蘇広域観光連盟(AATA)の事務局も併任している。